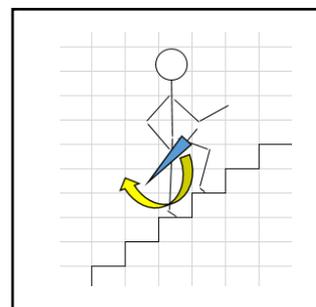


4月12日には1年生に対して部活動紹介がありました。私は出張のため見ることはできなかったのですが、各部で工夫を凝らして



自分たちの部のPRをしたようです。加入率も若干下がってきたり、新型コロナの影響で中学校の時も十分に部活動ができなかったりしたことで入部をためらう生徒も増えてきているようですが、学年を超えた付き合いの中で感じることや経験を積むこともあるかと思えますので、積極的な部活動参加を望みます。決して強制ではありませんが、高校での充実感を高めるためには必要な活動だと思います。悩んでいる人は是非、先生や上級生に相談してみてください。しばらくは仮入部という形での練習参加になるようです。よろしくお願いします。



左の図は何を示しているのかというと傘を持って階段を上っている様子です。傘を驚掴みにするように持って階段を上がり、腕を振ると下にいる人にとっても迷惑になるということを図示しています。下にいる人は傘を持っている人より低いところにいますので、顔付近に傘の先が来ることも考えられます。平地で歩く際もこのような持ち方をする小学校低学年の児童や保育園児などが後ろにいると非常に危ないこととなります。校舎内では傘を持ち歩かないですし、電車通学の人も多くはないのであまり意識することはないかもしれません。私も車通勤で電車に乗ることは減多にないので、普段あまり意識しないのですが、

本校生徒が3学年揃った通学風景と小中学生も多く通学している様子を見て、ふと思い出しました。また、傘を差して歩くと傘の直径分は幅をとることになります。合羽を着て自転車通学をしている人もいますし、中学生も通学時間帯は重なってきますので、車での送迎場所から歩いてくる人や徒歩通学の方は傘を差す場合気をつけてください。さらに道路を横断する際も傘を差していない時と同じように車道に近づきすぎると危ないことも自覚しておきましょう。周りをしっかり見て行動できるようになりましょう。

このことに加えて、今でも自分の子供に言われたことで忘れられないことがあります。子供が3歳くらいの時に一緒に手をつないで歩いていると「もっとゆっくり歩いてよ。」と言われたことです。大人が普通に歩くスピードは、歩幅が半分くらいしかない子供にとっては大人の倍くらい足を動かさないといけないスピードになります。大人にとっての普通は子供にとっての普通ではなかったということに気づかされた瞬間でした。頭の中では分かっているつもりでもなかなかそうできていないことがあります。当たり前のことですが、気持ちに余裕がなかったり、別のことを考えたりしていると頭の中で分かっていることが行動に表れないこともあります。そんなときにいつも子供に言われたこの言葉を思い出しながら反省しています。相手の目線に立ってみる、相手の気持ちを考えてみることで、見えてくるものは変わってくるでしょう。行き詰まったり、うまくいかなかったりするときは一度立ち止まって周りのこと、相手のことを考えてみてください。

さらにこのことから部活動の指導において身長の高い選手と低い選手の疲れ具合や身体の使い方は違うのではないかと思います。これも指導者としては当たり前のことですが、疲れ具合の違う選手に同じトレーニングをすると一方には過度な強度になり、一方には適度もしくは少し楽な強度になるかもしれないということです。とはいっても一人ひとりのトレーニングメニューを考えることは難しく、時間も限られていますので、指導者が練習の様子をしっかりと見て、無理をさせないようにしていくことが大切です。よろしくお願いします。

新学期が始まって1週間。授業も始まりました。1年生のこの時期はとてもオリエンテーションが大切になります。学校生活に慣れるための大事なこと、高校の授業に慣れていくために必要なことなど生活をしながら覚えていってもらわねばなりません。2、3年生は自分たちの時のことを思い出しながら1年生を引っ張っていきましょう。新型コロナ感染もまだまだ収まりません。マスクや人との距離感など防止対策をよろしくお願いします。